

楽しく続けることで輪を広げる

「大西さん、こんにちは」、「こんにちは」。同行して歩いていると、次々に、行き交う人から声がかかる。防災井戸や公園の側を通りかかると、子どもたちが走り寄ってくる。ここは兵庫県加古川市にある「加古川グリーンシティ」。7棟に584世帯（約2000人）が暮らす大規模マンションだ。「住民たちが声を掛け合い、挨拶し合うのも、れっきとした減災活動。顔見知りになること、助け合うこと、すべてはそこから始まります」と加古川グリーンシティ防災会会長の大西賞典さん。

同会の活動の原点は、阪神・淡路大震災。当時、職場が神戸だった人も多く、住民たちの中から、災害に強くなるためにマンション内で自分たちができることをしようという声が出はじめ、1998年、自主防災組織を設立、活動に乗り出した。

最初の活動は、マンション内の「チャンネルマップ」を作ったこと。いろいろな職種の人があるマンション住民の中で、何か他の人の役に立てる能力・特技あればそれを登録してもらおうというもの。さらにその後、高齢者などを対象とした、災害時に「ひと声かけてもらいたい人」の登録も開始。人の輪が広がった。

「楽しく防災・減災活動をやろう！」が合言葉。例えば、夏祭りなどのイベントに毎回登場して人気の「イカ焼き」は、運営

日常生活からはじまる

地域ぐるみでの楽しい減災活動

大規模マンションの生活防災—加古川グリーンシティ防災会—



夏祭りなどのイベントや防災訓練の際の屋台運営も災害時の炊き出しに役立つ。「大切なのは、皆で集まり何かをすることから広がるコミュニケーションの輪」と防災会のメンバーたち



小麦粉の生地にイカを入れ、上下から挟んで焼く「イカ焼き」。お米の炊き出しと比べ、1枚焼くのに数十秒と調理時間が短く、焼いているそばから温かい食べ物を次々提供できるのが利点。小麦粉の備蓄を各家庭にも呼びかけている



子どもが参加する自警団による夜回り。防犯効果とともに世代を越えた交流につながった

大きな白地図を用い、住民が災害シミュレーションを行う「災害図上訓練DIG (Disaster Imagination Game)」。年に4回程度実施



防災会メンバーの、左から平林隆晴さん、大西賞典さん、佃康雄さん。同会が提唱する「楽しい防災・減災活動」は、その先進性で、全国的にも注目を集めている

兵庫県・加古川市

生活者にとっての減災
——活動事例から

担当者にとっては、そのまま非常時の炊き出しの予行演習になっている。

「熱しやすく冷めやすい減災活動ではだめ。日常的に続けるためには、楽しくなければならぬ。減災活動だと知らないまま、みんな参加してゐるんです」

サッカーや野球の「パブリックビューイング」、「ふれあいもちつき大会」、「子どもたちとの合同の町内夜回り」など、折にふれ世代を越えて参加できる行事を企画。楽しく過ごしている間に参加者同士が知り合いになれる。もちろん、その間に住民たちの間で防災・減災のノウハウが、相互のふれあいを通して共有されていく。

防災会の中心メンバーには現役世代の男性が多く、活動内容は、ソフト・ハード両面で多彩だ。メンバーの特技を活かし、情報発信にも重きを置いている。

広報誌「グリーンだより」を発行し、情報伝達システム「グリーンネット」やコミュニティ放送「ニューメディアシステム」などで域内のメディアネットワークを構築。災害時の行動指針を示した小冊子「命のライセンス」や「非常持ち出し本」を作成して各戸に配布し、話題を呼んだ。

こうした活動は、外部の団体からも関心を集め、連携の要望も出てきた。今後は「各地の自主防災組織との住民発のネットワークづくり」に努めたいと大西さん。防災・減災の輪はさらに広がりをみせている。

(文責・CEL編集室)

CEL



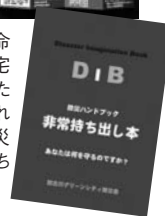
敷地内にある防災井戸の水は、地下30mから汲み上げられたもの。飲み水にも適した水質で、日常的に飲用する方も。手動ポンプと水場を設け、子どもたちが遊び、人が集まる場になっている



防災井戸には、非常用発電機で動く電動ポンプが設けられ、災害時には耐圧ホースの先の8つの蛇口から同時に利用できる



災害時の行動指針「命のライセンス」や「帰宅支援サポーター」はたまたんで手帳や財布に入れておけるサイズ。防災ハンドブック「非常持ち出し本」も独自に作成



毎年恒例のふれあいもちつき大会。減災には住民の交流が一番大切。防災会では積極的に住民が集まる場を設けている



企業と提携した自動販売機を置くことで、AED(自動体外式除細動器)を敷地内に4台設置。住民を対象にした救命講習も定期的に開催し、市民救命士や応急手当普及員の資格をもつ人も増えてきた



エレベータが停止した際、高い階から負傷者や高齢者が避難できるように昇降装置も配備



マンションのすべてのエレベータに耐震補強工事を実施。エレベータホールには域内放送のモニターがあり、防犯カメラの映像や地域情報、緊急情報が配信される。手前にはAED



加古川グリーンシティの全景